

サイマルキャスト・ビューア(Simulcast Viewer)操作手引き

東京情報大学

1. スタートアップ

(1) 起動コマンドの作成

サイマルキャスト・ビューアを起動するための simulcast.bat をテキストエディタを利用し作成します。次のコマンドにより **Simulcast Viewer** を起動します。

simulcast.bat

```
"c:\Program Files\DRL\Simulcast Viewer\Simulcast Viewer.exe" -maximize -auto_play map -server_choice simulcast.tuis.ac.jp:3502
```

ここで、-maximize は画面全体表示、-auto_play map は衛星が飛来するたびに自動的に地図表示、-server_choice はサイマルキャスト・サーバの選択オプションで、simulcast.tuis.ac.jp はサーバー名、3502 はサイマルキャストのためのポート番号です。ファイアーウォールのある接続環境では、3502 のポート番号が通過可能なように、ファイアーウォール管理者に設定を依頼してください。

Simulcast Viewer は、http://drl.gsfc.nasa.gov からフリーでダウンロード可能です。

(2) 自動起動

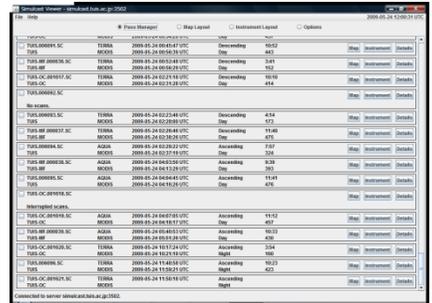
自動で起動するためには、スタートアップのプログラムの一つとして登録します。

2. 待機状態

サイマルキャスト・ビューアが立ち上がると、図1の画面表示となり、**衛星の飛来待ちの待機状態(Pass Manager)**となります。故障ではありません。衛星が飛来すると、マップモードに変わり、自動的に衛星観測データが表示されます。

予め、"Map Layout(図1の上側のスイッチ)"を選択し、4.の表示領域の設定も可能です。いずれも、衛星データを受信すると、自動的に表示されます。

図1 サイマルキャストビューア待機画面



3. 過去のデータの表示

過去のデータを表示するためには、図1のサイマルキャストビューア待機画面(Pass Manager)から、図2に示すように、各パスの左端の□ボックスをクリックし、図1の上側の"Map Layout"をクリックします。続いて、図3のスタート・ボタンをクリックします。

過去のデータを複数選択し、Map Layoutモードから、図3の"指定したパスの選択ボタン"でパスを選択し、"スタート・ボタン"を押し、さらに、"選択"と"スタート"を繰り返し、複数と同時に表示することも可能です。

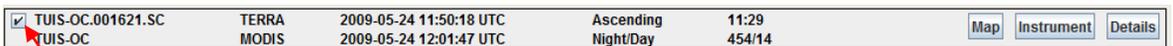


図2 パスの選択

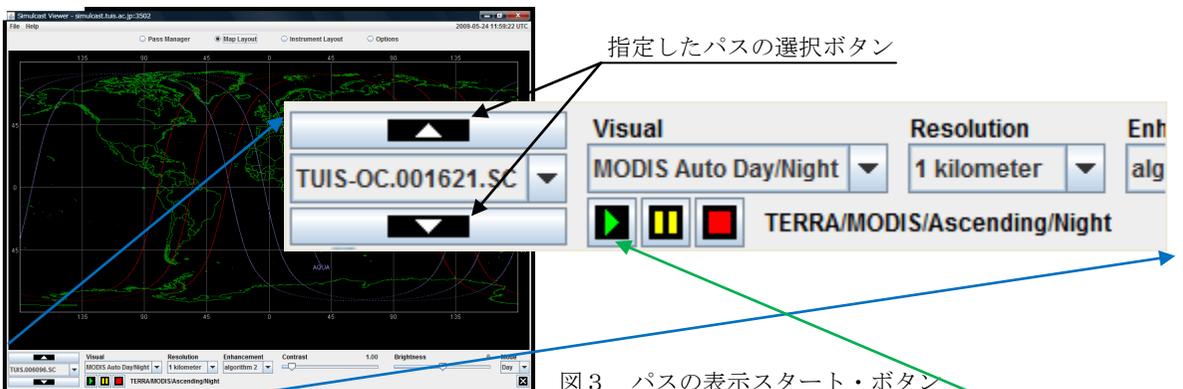


図3 パスの表示スタート・ボタン

4. 表示領域の設定

現在のサイマルキャスト・ビューアでは、特定領域の自動表示が困難です。マップ・モードになると同時に、図4に示すように全球のメルカトル図が表示されます。表示の中心とするポイントにおいて、マウスを左クリックすると、クリックした地点を中心に領域が拡大表示されます。マウスを右クリックすると、図5に示す、画像表示のオプションが表示されるので、拡大”Zoom In (2x)”、縮小”Zoom Out (2x)”、全体表示”Zoom Out (All)”、表示中心設定”Center”を適宜選択し、希望の表示領域を設定します。

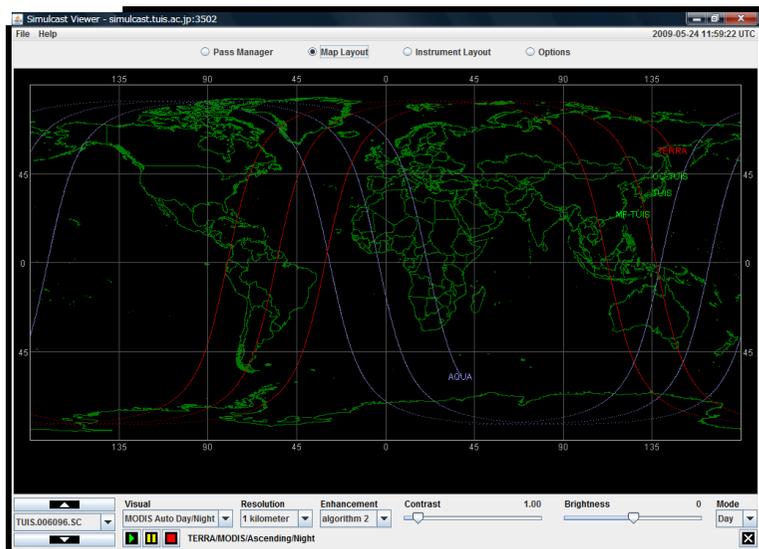


図4 全球のメルカトル図

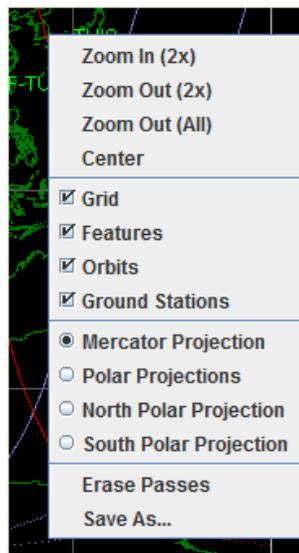


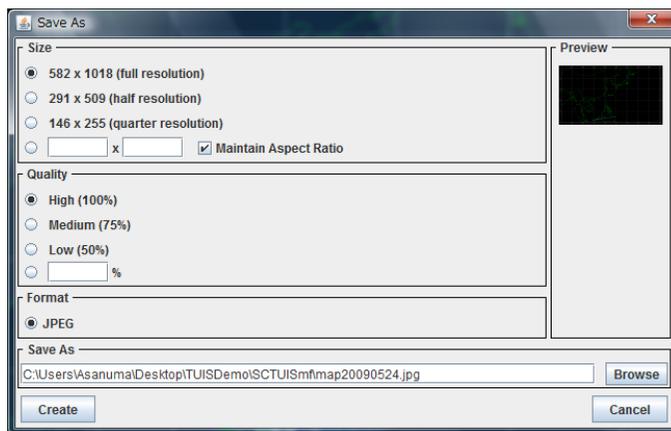
図5 右ボタンクリックより表示されるオプション

5. 画像の保存とプリント方法

(1) 保存方法

図5に示すように、拡大縮小表示と同様に、画像の任意の場所を右クリックし、名前を付けて画像を保存”Save As ...”を選択します。図6に示すウインドウが表示されるので、”Save As”の欄に任意のファイル名を付けて、jpg フォーマットで保存します。

図6 名前を付けて画像を保存するウインドウ



(2) プリント方法

- ① (1)で保存した画像をプリントする方法：保存したファイルを開き、プリントして下さい。
- ② PCの表示画面全体をプリントする方法：ウインドウ右下の”WinShot”アイコンを右クリックし、”印刷”から”デスクトップ”を選択します。プリントのウインドウが表示されますので、”OK”をクリックします。

6. 操作方法等の問合せ先

東京情報大学環境情報学科 浅沼市男 asanuma@rsch.tuis.ac.jp